

- 一七三、其ノ他ノ倉庫業
- 二二、金融業

- 一七四、銀行業

- 一七五、信託業

- 一七六、貸金業

- 一七七、質屋業

- 一七八、其ノ他ノ金融業

- 二四、保險業

- 一七九、保險業

- 二五、其ノ他ノ商業

- 一八〇、仲買、委託販賣及仲立業

- 一八一、取引所

- 一八二、市場業

- 一八三、證券業

- 一八四、小運送業

第七、雜業

- 二六、雜業

- 一八六、土木建築請負業

- 一八七、土地建物賃貸(貸室ヲ含ム)業

- 一八八、物品賃貸業

- 一八九、新聞紙發行及圖書、雜誌出版業

- 一九〇、旅館業

- 一九一、娯樂及興業ニ關スル事業

- 一九二、映畫製作業

- 一九三、料理業

- 一九四、貸席業

- 一九五、理容業
- 一九六、上水道業

- 一九七、埋立及干拓業
- 一九八、其ノ他ノ雜業

第八、研究施設

- 二七、研究施設

- 一九九、研究施設(試作施設ヲ含ム)

第九、其ノ他ノ事業及施設

- 二八、其ノ他ノ事業及施設

- 二〇〇、教育事業

- 二〇一、體育事業

- 二〇二、文化事業

- 二〇三、慈善事業

- 二〇四、社會事業

- 二〇五、醫療施設

- 二〇六、博覽會

- 二〇七、觀光施設

- 二〇八、放送事業

- 二〇九、社交的施設

- 二一〇、其ノ他ノ事業及施設

〔參照〕

昭和十三年八月二日 厚生省令第二十三號 學校卒業
者使用制限令施行規則抄録

第一條 學校卒業者使用制限令(以下令ト稱ス)第二
條ノ認可ヲ受ケントスル者ハ卒業者ノ卒業ノ前年

七月末日迄ニ様式第一號ニ依リ申請スベシ

第二條 前條ノ申請ニ對スル認可ヲ爲シタル後ニ於
テ使用シ得ベキ卒業者アルトキ其ノ他特別ノ必要

アルトキハ前條ノ規定ニ拘ラズ令第二條ノ認可ヲ
受ケシムルコトヲ得

第三條 令第二條ノ認可ノ申請ハ工場、事業場又ハ

事務所別ニ卒業者ノ勤務スベキ工場、事業場又ハ
事務所所在地ノ所轄地方長官(鑛業法又ハ砂鑛法
ノ適用ヲ受クル事業ニ付テハ鑛山監督局長トス)
ヲ經由シテ之ヲ爲スベシ

健康保險法中改正法律の一部施行期日
の件公布

健康保險法中改正法律は本誌前號本欄に所報の如く
であるが、その一部施行期日に關する法律は昭和十七
年三月三十日付官報を以て公布を見た。之を掲ぐれば
次の如くである。

健康保險法改正法律ノ一部施行期
日ノ件(昭和十七年三月二十八日
勅令第二百九十九號)

昭和十七年法律第三十八號中第四十九條第一項、第五
十六條第一項、第六十一條、第六十二條第二項、第六
十三條、第七十四條第一項(但書中第十五條ノ二ノ規
定ニ依ル被保險者ニ關スル部分ヲ除ク)及第七十六條
ノ改正規定並ニ第八十四條ノ二ノ規定ハ昭和十七年四
月一日ヨリ之ヲ施行ス

健康保險法施行令中改正

健康保險法施行令中改正の件は昭和十七年三月三十
日付官報を以て公布を見た。之を掲ぐれば次の如くで
ある。

健康保險法施行令中改正ノ件

(昭和十七年三月二十八日
勅令第二百九十一號)

健康保險法施行令中左ノ通改正ス

第八條ノ二ヲ削ル

第九條中「三十日」ヲ「一月」ニ、「六十日」ヲ「二月」ニ改ム

第七十九條ノ二中「療養ノ給付」ノ下ニ「又ハ傷病手當金ノ支給」ヲ加フ

第七十九條ノ三、第八十四條及第八十八條中「百八十八日」ヲ「六月」ニ改ム

第八十七條ノ三第三項ノ次ニ左ノ三項ヲ加フ

世帯員ガ保險者ノ指定シタル醫師、齒科醫師又ハ藥劑師ニ就キ療養ヲ受ケタル場合ニ於テハ保險者ハ其

ノ世帯員ガ當該醫師、齒科醫師又ハ藥劑師ニ對シテ支拂フベキ療養ニ要シタル費用ニ付補給金トシテ被保險者ニ對シ支給スベキ額ノ限度ニ於テ被保險者ニ代

リ當該醫師、齒科醫師又ハ藥劑師ニ對シ之ヲ支拂フコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ醫師、齒科醫師又ハ藥劑師ニ對シテ費用ヲ支拂ヒタル場合ニ於テハ其ノ限度ニ於テ被保險者ニ對シ補給金ヲ支給シタルモノト看做ス

世帯員ガ保險者ノ指定シタル醫師、齒科醫師又ハ藥劑師以外ノ者ニ就キ療養ヲ受ケタル場合ニ於ケル補給金ノ支給方法ハ厚生大臣之ヲ定ム

第八十九條第二項中「療養費、埋葬料及分娩費」ヲ「療養費、埋葬料、分娩費及補給金」ニ改ム

第九十四條 保險料額ハ各月ニ付各被保險者ノ標準報酬月額ニ保險料率ヲ乘ジテ得タル額トス但シ被保險者ノ資格ヲ取得シタル日ガ十六日以後ナル場合又ハ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル日ガ二日以後十六日以前ナル場合ニ於テハ其ノ月分ノ保險料額ハ之ヲ半額トス

被保險者ノ資格ヲ取得シタル月ニ於テ其ノ資格ヲ喪失シタル場合ニ於テハ前項ノ規定ニ拘ラズ其ノ間ニ於ケル保險料額ハ被保險者タリシ日數ガ十六日以上ナルトキハ其ノ月分ノ保險料額ノ全額、十五日以内ナルトキハ其ノ半額トス

第九十四條ノ二 健康保險法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ニ關スル保險料ハ其ノ被保險者ト爲リタル日ガ十七日以後ナルトキハ其ノ翌月ヨリ、十六日以前ナルトキハ其ノ月ヨリ之ヲ算定ス

前項ノ場合ニ於テ毎月ノ保險料ノ算定方法ハ前條ノ例ニ依ル但シ前項後段ノ場合ニ於テ被保險者ト爲リタル日ガ二日以後十六日以前ナルトキハ其ノ月分ノ保險料額ハ保險料月額ノ半額トス

第九十七條ノ二 被保險者ガ健康保險法第六十二條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テ其ノ日ガ其ノ屬スル月ノ全日數ニ亙ル場合ニ於テハ其ノ月分ノ保險料額ノ全額ヲ、其ノ屬スル月ノ全日數ニ亙ラザルモ十五日以上ナル場合ニ於テハ其ノ月分ノ保險料額ノ半額ヲ徴收セズ

附則 本令ハ昭和十七年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔參照〕 大正十五年六月三十日勅令第二百四十三號健康保險法施行令抄錄

第八條ノ二 健康保險法第八十一條ノ規定ニ依ル訴願ニ關シテハ健康保險組合ヲ訴願法ノ規定ニ依ル行政廳ト看做ス

第九條 臨時ニ使用セラルル者ノ中左ニ掲グル者ハ健康保險法第十三條但書又ハ第十五條第二項ノ規定ニ依リ被保險者タラザルモノトス但シ第一號ニ

該當スル者所定ノ期間ヲ超エテ引續キ使用セラルルニ至リタルトキ又ハ第二號若ハ第三號ニ該當スル者三十日ヲ超エテ引續キ使用セラルルニ至リタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

（左記略ス）

第七十九條ノ二 健康保險組合ハ健康保險法第四十七條第二項ノ規定ニ依ル療養ノ給付ヲ爲サントスルトキハ規約ヲ以テ其ノ旨ヲ定ムベシ

第七十九條ノ三 健康保險法第四十七條第一項但書ノ規定ニ依ル期間ハ百八十八日トス

第八十九條第二項 療養費、埋葬料及分娩費ハ其ノ都度之ヲ支給スベシ健康保險法第四十九條第二項又ハ第五十六條第二項ノ埋葬費ニ付亦同ジ

第九十四條 保險料額ハ各月ニ付各被保險者ノ標準報酬月額ニ保險料率ヲ乘ジテ得タル額トス

被保險者ノ資格ヲ取得シタル日ガ十六日以後ナル場合又ハ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル日ガ二日以後十六日以前ナル場合ニ於テハ其ノ月分ノ保險料額ハ之ヲ半額トス

職員健康保險法施行令中改正 職員健康保險法施行令中改正の件は昭和十七年三月十八日付官報を以て公布を見たが、之を掲ぐれば次の